

閑上地区まちづくり協議会 世話役会(125) 議事録

日 時	平成 29 年 10 月 24 日 (火) 18:30~21:00
場 所	名取市復興区画整理課会議室 (仙台法務局名取出張所 2 階)
出席者	世話役 : (副代表) 今野義正、阿部ひで、(事務局長) 今野慎介、南部比呂志、宇佐美久夫、庄司則雄 (事務局) コンサルタント 4 名
オブザーバー	市職員 教育部生涯学習課 3 名、震災復興部復興区画整理課 2 名 仙台高専 2 名 傍聴 2 名
議 題	0. 事前確認 1. 名取市からの情報提供 2. 情報共有について 3. その他
資 料	資料-0 次第、第 124 回世話役会議事録案 資料-1 新閑上公民館説明会資料 資料-2 津波避難等計画第 2 回ワークショップ報告、宮城県連携復興センター勉強会報告、ニュースレター案

○ 協議要旨

0. 事前確認について

<議事録確認>

- ・第 124 回世話役会議事録は一部修正し、確定した。

1. 名取市からの情報提供

<新閑上公民館について>

・市から改めて新閑上公民館について説明を受け、平屋構造の可能性、小中学生への説明機会の確保、説明会及び世話役会での質疑応答を通じた再度の説明会の開催必要性について、担当課に伝えた。

2. 情報共有について

・津波避難計画等のワークショップについて、次回参加の場合には、報告書に目を通して参加してほしいとの話があった。

- ・11 月 3 日の秋祭りへの出展について、集合時間を確認した。

3. その他

<ニュースレターについて>

- ・提示した修正案で発行することになった。

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は 11 月 7 日 (火) とする。

次回予定:世話役会(126)11/7(火)18:30~ 名取市震災復興部会議室

0. 事前確認

資料-0 第124回世話役会議事録案

<議事録の確認>

- ・第124回世話役会議事録は一部修正し、確定した。

1. 名取市からの情報提供

<新開上公民館について：生涯学習課説明>

- 復旧費の **2/3** が補助となり、残りは市の単独費が必要。残りの部分の補助については、国の制度がない。最も新しい愛島公民館の建設単価は **40万円/㎡**だった。
- 今回の規模だと前の規模に比較して **200㎡**大きくなっているので **8000万円**以上が追加の投資なる。
- 市としては1千㎡程度の規模が上限であると考えている。
- 体育館は **700㎡**で復旧する予定、鉄骨造なので単価は安い。**27年度**のワークショップから**1年半**あり、学識に協力を得て、**1000㎡**程度でワークショップの意見を極力反映した案である。ワークショップのタイミングが早く、その意見を思い出しながら検討している。
- 和室はあまり使われないことが多いが、お花やお茶などについては、今後も使い方としてあるので、ある程度規模は小さくても、従来もあったので設定した。
- 学識の意見で、中庭の屋根を掛けることも考えられ、イベント広場については使い勝手があるという案である。2階の集会室は、旧の公民館の大ホールのイメージである。
- 間仕切りもできる部屋である。会議室3については、中高生ルームとして使うこととした。名称は復旧との関係で付けている。体育館は東側に別棟で付けているような位置関係にあるが、補助は別物となっているため、極力、分離されているような配置としているが、一方で、一体性もあるようなレイアウトとしている。
- 1階のカフェについては、必要性に対して意見があるが、行事の事前の打ち合わせなどが少人数で行うなど、多いと予想され、自由に使えるエリアのオープンスペースとして設置、図書館の機能も合わせて設置している。
- 調理室は、ワークショップ時の **90㎡**を **80㎡**としている。
- ワークショップででている音楽スタジオ防音、については、会議室1、2、体育館の活用で対応する案である。
- 視聴覚室については、カフェスペースを使用することとしている。多目的ホールは、体育館を使用する方向で考えている。公民館祭りなどでは、ステージを設けるなども体育館のできるので、対応する案である。
- 中高生ルームは2階に設置しているが、間取りが決まった段階で場所をきめて、内装と備品で対応していきたい。公民館が生徒のたまり場となってほしいとの意義だったと思う、多世代交流からも公民館利用がのぞましい。会議室3は、子供が利用しないときは別目的でも使えるように考えている。
- 体育館は同規模、公民館は震災前のものより**200平米**大きい。市内ではもっとも大きな公民館になる。

意見交換

- ・**10月8日**以降の進展は？

→検討中である。今回は10月8日に使用した資料で再度説明することとした。(市)

・質問は？

→内容によっては即答できないものもあるが大丈夫である。(市)

・検討した当初の計画は、もともとできない計画だったのでは？そうなるワークショップを開いた趣旨はなになるのか？

→市内の公民館は11あり、那智が丘公民館までは市民の意見は反映していなかった。愛島公民館から意見を聞いて、合意形成しつつ、有効活用していくことが望ましいと考えていた。無理な計画という話だが、27年度の段階では詳細が決まっておらず、考えを聞きながら取り入れられないかということで実施した。面積は重要だが、ワークショップでは使い方を中心に聞いてきて、規模は大き目となってしまったという理解、意見は聞けたし、まとめられたことは有意義。規模は条件とせずに議論してきたと考える。(市)

・もとの大きさ程度といえよよかったのでは？

→話をしたという点では微妙だが、災害復旧で原型復旧なのか、少し大きめにできるのか、体育館と一緒にするということはできなかったのが、規模を決めて話をすることはあまりにも夢がないと判断した。模型についても、ワークショップのものということで説明したのだが、完成形としてイメージがすぎたのは意図したことではない。(市)

・子供は模型をみている。こんな感じのできるもんだと思っている。変わることを説明するには、どうしたらよいか？

・やりかたがまちがっていたのでは？意見を出し合って夢が広がった、案としてはそこそこだが、やったことが無駄なものというイメージになっている。やりかたが悪いということが結論だ。

・素案について、年度末までには実施設計ができていないと間に合わないということだろうが、公表するタイミングと期限にあまりにも期間がなさ過ぎる。25年時点で災害復旧で建設ということを市は考えていたはず、ワークショップで条件なしで議論することはいいが、結果が規模が半減では問題だろう。公民館としてはワークショップをしないのと同じ考え方になってしまう。素案から改善案をどう見つけるかを議論すべきとしている。まち協では中央公民館と中央公園との一体化という提案をしているが、その提案に対することの回答がみえない。加えて、閑上太鼓は地域にとって重要な要素であり、公民館で練習する場合は防音が重要だし、子供ワークショップでもステージを設けるとか、デッキを設けるとか、イベント時に活用可能な空間などの必要性を議論してきたはず。今後、公園との一体感の創出などで改善について考慮していただくことは可能なのか？どこでもある計画案なのに、どこを工夫したか、2階建は珍しいが、復旧というイメージでエレベータの設置はいいが、子供達が掲げた多世代交流による公民館活動を目指すということで対応できているかどうかは問題な部分もある。

→一体感については、公園とのまとまり感がないとは思いますが、他の公民館と比べて独創的でもある。学識の意見も反映した案である。庁内ではレイアウトにおいて、おかしいという意見もあった。中庭のイベント広場の設置は特徴的なものである。公園については、整備の方向性について結論が出ていなかったのが、情報共有するため、公園のワークショップにも参加している。公園部分についても検討は続けており、公民館の前の空間がデッキにはなっていないが、ステージを中庭で設置し、内側もガラスで、位置的には本部的にも使える。フリーマーケットにも使える。面積的な部分は狭まるが、その空間として中庭を活用することがイメージしている。壁にテント設置などもイメージしている。公園のことも考えていないことはない。駐車台数も重要なので、公園に遊び場機能を持たせ、駐車場を拡大するなど点において、一体感を考慮していると思う。防音については、設置が難しい、振動も大事で、抜け落ちているわけではなく、検討はしている。

どの程度まで対応すべきなのかが鍵となっている。完全防音は難しいと考えている。活動については、活動時間の配慮、運用面での対処なども考えて欲しい。会議室でミニコンサートはできる規模である。どこまでできるか防音対策が可能かは保留中である。(市)

・太鼓の演奏は、騒音が一般的に問題になっている。少しでもいいので、ウレタン材を張り付けるとか工夫でよい。但し、保管する場所がないのは困る。外倉庫ではダメで、部屋の中で保管したい。

→図面の中で収納が書かれていないので、検討していく。(市)

・神輿は町会の財産、太鼓は市の文化財、公民館で保管することは可能なのか？

→太鼓は公民館の備品なので保管は問題ない。町会の備品は基本的には集会所とか、公民館だけでなく、住民合意の下で収納場所を検討していくべきだと思う。(市)

・結果的に実施設計の手前で模型はできる？子供たちに納得してもらえそうな努力は可能か？

→模型は、進んでないと作れない。決まったものでないと作成はできない。(市)

・できた結果としてワークショップの意見への対応も含めて、説明することは可能か？

→29年度子供会議をしているので、11月19日に公民館の説明はできる。(市)

・子供会議だけでなく、小学校は授業の一環として取り組んでいるので、学校にも説明する必要がある。模型でも説明しないと、子供の心を踏まえて、ちゃんと説明して欲しい。そもそも公民館の活用のスタンスが違うと思う。閑上の公民館は、集う場所として他地区へ移転した人とも交流する場になるという、重要な意味を踏まえるべきだ。

→このプランは、庁内合意形成中のものなのでは？設計段階を踏まえるとレベル感が少し違うような気がする。実施設計やったら終わりなはずだ。中庭の取扱の問題もある。廊下の面積があると部屋が小さくなる。中庭の設置が実際どうなるか不安だ。(事務局)

・従来のものが二階だから二階なのか？避難テラスがあるが、公民館は避難拠点としないとし、平屋で設計するということもあるので、デッキの設置も、中からも見渡せることのできる話ということだが、実施設計に出す前に、実際の計画として案を示して欲しい。

・体育館は熱気がたまる場所なので、空気の流れができるように、してもらいたいなど、今までの意見を集約して反映して、再度検討して欲しい。

→階数は3階建てということもあった。公民館への避難も考慮していないことはなかったはず。災害復旧で2階建てでは、エレベータは単費だと思う。従来、エレベータはなかった。2階建てはコンパクトになる。平屋だと平面的に占有空間が多くなる。車利用も多いので駐車場のエリア確保も重要と思っている。(市)

・中庭へ2階部分をおろすということもあるのでは？

→基本設計は市役所？(仙台高専)

→教育委員会で案を作成し、学識に見ていただいている案である。計画図のその前の段階である。(市)

・実施設計前に、機能的なものが収まっているもので、庁内だけでやって大丈夫か？意見を聞く部分で、予算の中で検討するワークショップで意見を聞く場面を作るべきではないか？

→庁内では項目を出して、見せている。削るワークショップ開催は考えられなかった。(市)

・実施設計でまったく違うものが出てくる可能性は？

→市としては計画図を示すのは慎重である。まったく変わるのかという意見に対しては、変わる可能性がないとは言わないが、時間的な問題も、1階建てになるということでは、なかなか難しい。(市)

・ポイントだけは吸収して行って欲しい。防音、公園との一体感、見渡せる空間の確保、防犯的

な部分もある。まち協の提案でもこれらのことは明示されている。

→防音については今後検討してみる。利用者が集まっていたいて運用で対応の話もある。公園の一体感については、前の渡り廊下ではなく、公民館のなかでのひとつなので、つなげるが、補助の関係で区分も必要。公園も復興部、中身が進んでいるということも聞いているので、駐車場の利用についても公園の共有化も一体感として検討していきたい。(市)

・関係部局との連携は十分果してほしい。庁内調整されたものが出てくればもっとも整理されるものだ。連携すれはうまくいくのでは？

→中庭は公園に向いているのも、公園との一体感であるし、復興部と話をしているわけではないし、駐車場の確保もありえる。(市)

・平屋案はできるのか？模型を作って子供たちに説明するべきだと思う。

・時間的に間に合うか？

→町開きまでの建設とすると、どこまで時間的に説明に避ける時間があるのか今の段階でははっきりしない。(市)

・模型が一人歩きしているということは認識として違うと思う。

・模型は作ってもらったということが背景にある。出せないなら作らないという選択もあったのではないか？

・同じ予算なら有意義な考えを示すべきだと思うので、意見を言っている。

・いつを目処に計画案が示されるのか？示せないならこのままの案でいくのか？実施設計にいくのか？

→ある程度合意されたものから実施設計に出していくこととなるが、実施設計ではレイアウトや配置が変わることはない。(市)

・1階案について、持ち帰って、返答だけでもしてもらえればいい。

・閑上は、イベントが多く、公民館だけでなく、婦人の家も使っていた。この部屋数だと数が少ないので、階数が制限されると問題になる。交流の機会を増やすことに対応できる数を確保すべきだと思う。

→平屋建てというのは初めて出てきた話なので、今のところはなんともいえない。(市)

・街ができてきたので、公民館には避難しないということで判断できるのではないかと思う。

・子供ワークショップの案でいけるといいのだが。

・中庭は奥まって人が入りにくい。ステージということから、前面に張り出す空間であって欲しい。

・変わったことの話の説明できないのは？

・部屋数は多いほうがよい。

・中庭の屋根は？

→建物としての屋根はない。布を引っ張って固定とかが考えられる。(市)

・中庭をなくして、部屋数を多くして欲しい。キッズスペースの配置も、中から見える部屋の位置も検討して欲しい。

・検討するというので、どの段階で示されるのか？

→答えていきたい、できるできない含めて、時期は今後つめる。(市)

・設計に入る前に意見を言わせてもらえればいいのでは？2回ぐらいは開催して欲しい。

・市でなくて、他のメンバーに検討してもらえればいいのではないか？

・閑上は人の趣味嗜好のイベントが多く、従来規模では、空間が足りないのではないかと思う。

→運用で対応していくことだけの充分広いエリアがあるとおもう。部屋数が足りないという話は

あるが、空間的な有効活用をしていくことは考えている。住民相互の理解の場として運用していくことで対応できるのではないかと思う。体育館はステージの設定を考えている。(市)

・入口が1箇所しかないので、ステージ運用は難しい面もある。

→体育館については、部署が違うので、ここでは答えられない。(市)

・次回の説明機会の日時はきめられるか？

→調整して復興部へ報告する。(市)

2. 情報共有について

＜津波避難計画等ワークショップについて＞

・次回のワークショップに参加する場合、報告に目を通して準備して欲しい。1時間と限定されており、その最中に、あまり時間が掛けられないと思うので。

＜宮城連携復興センターの勉強会について＞

→報告書に目を通して欲しい。(事務局)

＜秋祭りへの出展について＞

→集合時間が7:30なのでこれる方はお願いする。

3. その他

＜ニュースレターについて＞

・原案で発送する。

＜その他＞

・小中高生への説明責任を果たして欲しいとの意見はいうべき。

以上

＜次回世話役会＞

・次回世話役会は11月7日(火)とする。

次回予定:世話役会(126) 11/7(火)18:30～ 名取市震災復興部会議室